



令和8年度 5月号 川口市立辻小学校

令和8年5月1日

辻小学校だより

学校教育目標

○学ぶ子（知）

○やさしい子（徳）

○元気な子（体）

生成A I を使いこなすためには…

～人間が正しく判断し、責任をもつことの重要性～

校長 近藤 百合

校庭の木々が鮮やかな若葉に包まれ、爽やかな風が吹き抜ける季節となりました。新しい学年がスタートして1ヵ月。子供たちの表情には、少しずつ新しいクラスや友達に馴染んできた様子が見て取れ、校舎には元気な声が響いています。

この書き出しの文は生成A I「Gemini」にキーワードとなる言葉「川口市立辻小学校、5月の学校だより、巻頭言」と入力したところ2、3秒で出てきたものです。その他に5月に運動会が実施されたらというバージョンや生活面を意識した内容のバージョンとわずかなキーワードを入力しただけで、ある程度整った文が提示されました。

対話型サービスとして「チャットGPT」が話題となったのは3、4年ほど前。それからすさまじいスピードで社会に広がっていきました。膨大な情報量をもつ生成A Iは人間と自然に会話をしているかのような応答が可能のため、多様な活用が進み、既存のサービスへの組み込みも広がっています。

学校現場でも生成A Iは広がりつつありますが、学校現場は「人間中心の原則」があり、生成A Iは人間の能力を補助、拡張し、可能性を広げる有効な道具ととらえなければなりません。つまり、生成A Iを使うことのリスクや懸念を踏まえつつ、最後は人間が判断し、責任をもつことになるのです。

先ほどの書き出しの文は、短いキーワードでA Iがもつ多くの情報をもとに作成されていました。もっと情報を入れると、さらにこちらの希望を叶える文を作成してくれます。しかし、生成A Iの情報はすでにある情報をもとに作成されたものであり、そのまま使用すると著作権に触れることもあるのです。

例えば「むかし、むかしで始まる物語を考えて」と生成A Iに伝えます。生成A Iは学習した情報から物語を作成しますが、この物語はオリジナルのものでないことが十分ありえます。「むかし、むかしで始まる物語」は昔話の定番の書き出しなので、いろいろな昔話をミックスして作られたことを念頭に置いておかなければならないのです。人間がそれを見極めることは生成A Iを使っていくことと切り離すことはできないのです。

学校現場も生成A Iを子供たちに適切に活用させることが大事になってきます。今後は、情報モラルを含めた情報活用能力を十分に育成し、子供たちに使用させることやレポートなど生成A Iによる生成物をそのまま自己の成果物として提出させないことをきまりとして提示していくことも必要になると思っています。

生成A Iについては私たち教員も含め、しっかりと理解し、子供たちの学びの一助として活用できるようにしていきたいと思えます。

辻小学校のホームページを是非、ご覧ください。

学校の教育活動等随時、更新しております。「辻小学校」で検索いただくか、右のQRコードからも、閲覧することができます。

子供たちの日常的な学習の様子もご覧ください。

学校ホームページ <http://tujisyou.official.jp/>



※明日から5連休となります。安全に気を付けてお過ごしください。